



株式会社 大木工藝 (大津市)

廃車・廃プラ・廃家電炭化物と下水汚泥炭による人工漁礁・サンゴ礁育成プロジェクト

当社は、「炭化」に着目した「廃車・廃プラ・廃家電炭化物と下水汚泥炭による人工漁礁・サンゴ礁育成プロジェクト」を行っております。

炭化とは、無酸素状態で加熱して熱分解させ、炭素を生成することです。炭化の過程では、CO2をほとんど排出することがなく、できあがった炭も様々な製品へ生まれ変わることができます。

本プロジェクトでは、廃車・廃家電を炭化して残った金属と、下水汚泥を炭化したものを海底に



金属ワイヤー使用



廃家電



下水汚泥炭

沈めることで、海藻やサンゴ礁を育成する人工漁礁として利活用しています。下水汚泥炭には、腐葉土と同じフルボ酸が含まれており、フルボ酸は、廃車・廃家電の鉄分と結合することで海藻や微生物に必要な栄養分や肥料になります。

本プロジェクトの原料のもとになっている廃車・廃家電・下水汚泥は、焼却・埋め立てが問題となっています。こうした社会の邪魔者扱いの廃車・廃家電・下水汚泥を最終的に持続可能な海藻育成の資源として有効活用することで、焼却量を減らすことに伴うCO2排出量の大幅な削減を実現できます。



廃車炭化前:約150kg



廃車炭化後:約130kg

令和5年からは東京大学との共同研究が始まり、令和6年より東京湾で実証実験を開始、その2年後には国際論文を東京大学から世界に発表する予定です。



株式会社 大木工藝

住所: 大津市中野3丁目4番13号 TEL:077-549-1309 FAX:077-549-1933
HP: <http://ohki-techno.com/>

創業: 昭和45年4月 資本金: 7000万円

業種: 炭素を極めて創業53年。医・食・住・衣・美容・環境・エネルギー・建築・農業・電極材など幅広い分野の研究開発型製造業です。また、大学と産学連携を行い、海外を含め多くの知的財産も所有しており、炭素に関するプロフェッショナルです。



代表取締役
大木 武彦さん

国連では、陸と比べて数十倍ものCO2を吸収する海藻を、「温暖化対策の切り札」として、新たなCO2吸収源として活用していくプロジェクトが提唱されています。この「ブルーカーボンプロジェクト」にとって、島国の日本は最適な環境と言うことができます。一方で、日本は海外に比べ環境問題に対して後手に回っています。私たちの人工漁礁・サンゴ礁育成プロジェクトは、すでに環境省に三度取り上げられ、注目を集めています。今こそ、このプロジェクトで環境問題に対して世界に一歩リードするべきではないでしょうか。



RECYCLE

REUSE



滋賀県のごみ減量・資源化の取組等に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845